

令和5年8月3日

各農業改良普及課
作物担当者様
関係各位

農業総合試験場普及戦略部
技術推進室（作物担当）

2023 Aichi 稲作管理支援情報 第4号

- 農総試（長久手市）の観測では、日平均気温は、6月第5半旬は平年より低くなりましたが、6月第6半旬以降は高めに推移しました。
- 作物研究部（長久手）の発育ステージ予測（7月31日現在）では、今後の気温が平年並みに推移した場合、平年に比べ、
 - ・ 早生品種（ゆめまつり、あさひの夢）：平年並み～1日早い
 - ・ 中生品種（あいちのかおり SBL）：平年並み～1日遅いと予測しています。
- なお、発育ステージ予測は、気温と日長のみに基づいて行っています。ほ場条件によっては、予測が実際の水稻の発育と異なる場合もあります。穂肥指導に当たっては、幼穂長の確認を行ってください。
- 気象庁の1か月予報によると、向こう1ヶ月の気温は高いと予測されています。このため、登熟期間となる品種で玄米品質の低下が危惧されます。登熟期間の過乾燥や早い落水では外観品質が低下します。適正な水管理を行うよう指導してください。
- 農総試（長久手市）における成熟期予測（7月31日現在）によると、今後、気温が平年並みに推移した場合、「コシヒカリ」の登熟期間は、31～32日と予測されています。
- 8月1日に斑点米カメムシ類発生予察注意報、病害虫発生予察情報では「いもち病（穂いもち）：やや多い」「ニカメイガ：やや多い」となっています。防除対策については、「あいち病害虫情報」を確認して下さい。
(<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/>)

添付資料：水稻生育診断情報（第3報）愛知農総試作物研究部作物研究室発行

連絡先：農総試普及戦略部技術推進室 電話 0561-62-0085 内線 344

情報提供先：農業イノベーション推進室技術調整G、園芸農産課稲・麦・大豆G、各農業改良普及課技術経営指導関係G、農業大学校、環境基盤研究部病虫害防除室、同病虫害研究室、作物研究部作物研究室、同水田利用研究室、山間農業研究所稲作研究室、愛知県経済農業協同組合連合会営農総合室、同農産販売課、同肥料農薬課、愛知県農業会議、愛知県農業協同組合中央会、愛知県農業共済組合、愛知県米麦振興協会